

認知症ケア支援VR



User's
Voice
vol.21



FACE DUO

明石こころのホスピタルの活用事例



地域で認知症の方を包括的に支援する体制を強化
～認知症をケアする方を支援する～

当院について

当院は昭和6年開設以来、精神科医療を地域に提供してきました。平成24年に精神科救急病棟の認可を受け、24時間365日体制で稼動しております。また平成30年には兵庫県より認知症疾患医療センターに指定され、物忘れ外来の設置や高齢者の専門病棟（48床）を中心に認知症に伴う症状には薬物療法や心理教育、作業療法を行い、早期回復を目指しています。さらに2025年4月からVRを活用した「FACEDUO 認知症ケア支援」を導入し、家族教室や認知症カフェで運用を開始しました。

入院認知症家族教室の場面



ここカフェ（認知症カフェ）の場面



病棟認知症家族教室の実践

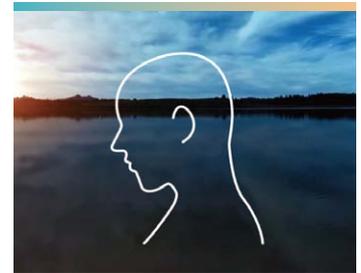
① FACEDUOを活用した映像学習 (15分×2回)



② 多職種によるワークシートを用いた支援ワーク (20分)



③ リラクゼーション動画 (10分)



当院では入院患者の家族を対象に、月1回60～90分の認知症家族教室を開催しています。毎回3～5世帯が参加し、認知症に関わる多職種が運営しています。プログラムは前半でVRや映像を使って認知症の基本症状（記憶障害、見当識障害など）を学び、後半で症状に応じた行動理解と対応法を紹介します。テーマは毎回変更し、VR体験やワークを通じて家族同士やスタッフとディスカッションを行い、学んだ内容を介護に活かせるよう理解を深めます。

認知症カフェでの運用

当院では入院中のご家族だけでなく高い注目を集めており、ここカフェで相談を受けた認知症の症状を持つご家族の外来受診や入院の医療相談などにつながり、認知症をケアする方の支援効果に期待できます。

認知症ご家族・利用者の意見

認知症家族や利用者からは「対応が聞けて良かった」「病気の理解が深まった」など、不安解消につながる声が多く寄せられています。映像やVR学習も「分かりやすい」「面白かった」「また参加したい」と好評です。現在、フレイル予防・看護師・介護士の教育向けのコンテンツも利用ができるようになりましたのでさらに活用場面を増やしたいと思います。



文責：明石こころのホスピタルリハビリテーション室 稲 将希 様

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!